

## 7 そのほかの治療 (腰椎分離すべり症)

脊柱管狭窄症に属する変形症に、腰椎分離症、腰椎分離すべり症がある。ここでは、腰椎分離すべり症についての治療を述べる。

### ① 腰椎分離すべり症の起き方

骨の一部が本体から離れることで、痛みが起きる。

### ② 症状などが起こる人

子供の頃 激しいスポーツをしていた人に起こる。体の硬い人も注意を。

### ③ 腰痛改善の骨子

これまでストレッチにたよっていたが、本件治療は、枕を有するので枕による押し合せ法とする。

### ④ 押し寄せ合せ法の仕方

この方法は、図-9に示すように、膝を曲げた仰向けの姿勢にて、尻部に尻枕を置く。そして6-④と同じ用い方する。

### ⑤ 接合されるメカニズム

図-10 上図に示すように下向に身体等分布荷重と、上向きに枕の変形等分布荷重とが、なめらかなサンドイッチ形態に寄せ合い、軸力なしの効果と相俟って、正しく接合される。

### ⑥ 他の治療へ活用

この治療法は、6 脊柱管狭窄症の枕設置時の、膝曲げに活用できる。

図-9

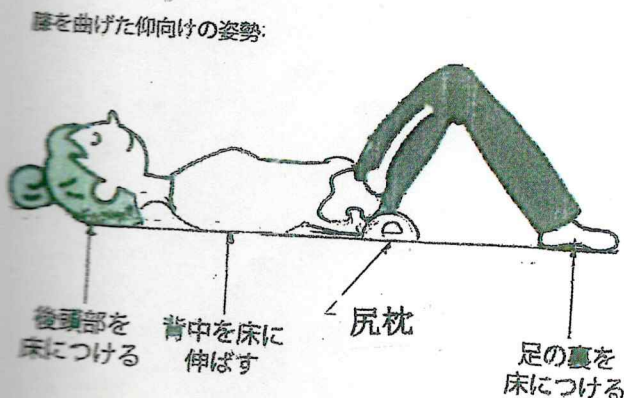


図-8

## 骨の一部が本体から外れることで、痛みが発生

成長期にスポーツの練習で繰り返し腰を使うことで、疲労骨折が起こります。

### 腰椎分離すべり症

### 腰椎分離症

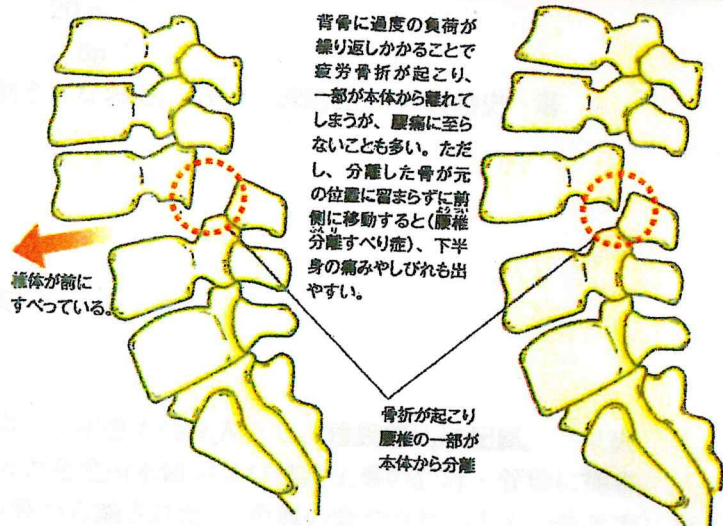


図-10

